

2015 年度末までに 約 4000 万円の設備投資を決定しました。

ダイニチ工業（株）[新潟市南区：社長 吉井久夫]は、2015 年度末までに総額約 4000 万円の設備投資を行います。主力商品である石油ファンヒーターの生産ラインを自動化することで、生産ラインでの作業員数を減らし、その分の人員を新事業に充てることを目的としています。昨年 9 月に 12 年ぶりの新事業として電気ファンヒーター市場に参入するなど、当社では新事業の育成を急いでいます。

また、生産ラインの自動化には以下のようなメリットもあります。

- ・重いものを運ぶなどの作業の自動化により、作業員の体の負担が軽くなる。
- ・簡単な作業の自動化により、作業員はより高度な作業に取り組めるようになり、スキルアップが期待できる。
- ・同じ作業を繰り返し続けることができるロボットを導入することで、品質の安定や向上につながる。

昨年 11 月に導入されたロボット（下写真右側）を始めとして、2015 年度末までに数件の自動化を行う予定で、当社では今後も日本国内での設備投資を継続的に行っていく方針です。



石油ファンヒーター製造工程



自動化の様子

企業紹介

1964 年に創業。1971 年に業界で初めて業務用気化式石油ストーブ「ブルーヒーター」を発売して以来、40 年以上にわたり石油燃焼技術を追求しています。

ダイニチは製品の設計から組立、検査にいたるまで、徹底した品質管理のもと、新潟の工場で行っています。



●新潟にある本社工場